

第5学年4組 総合的な学習の時間（英語活動）指導案

平成20年12月3日（水）第2校時
授業者 教諭

1 題材名 クイズ大会をしよう

2 題材の目標

- ・Wha's this ?という表現に慣れる。
- ・英語を使って積極的に相手に質問したり、尋ねられた時に答えたりできる。
- ・英語でコミュニケーションを図る楽しさを味わうことができる。

3 題材について

(1)題材のテーマについて

児童はなぜなぜやクイズを出し合うことが大好きである。ここでは、大好きなクイズ大会を英語で行うことで苦手意識をなくし、自然な形で対話できるようになることをねらいとしている。

来年度から、5年生・6年生は英語ノートを使用しての英語学習が始まることになっている。学習する言語材料をCDで聞き取り、テキストを活用して何度も繰り返して使っていく中で自分のものにしていく流れである。英語ノートを活用することで、以前に学習した内容を定期的に思い出し、さらに積み上げて学習していけるようになっている。また、5年生・6年生での学習内容が重複しないようになっており、中学校での英語学習にスムーズに入っていけるような組み立てとなっている。

本題材では、「Wha's this ?」を主とする言語材料として様々なクイズにチャレンジしていく。何度もこのフレーズを耳にすることで、自然と「これは何かな?」という日本語と結びつけていける。また、少しずつ言語材料を増やしていくことで無理なくそれぞれがクイズ大会を行える展開になっている。

英語活動では、コミュニケーションを取る楽しさを味わうことが重要である。淡々と単語を覚える英語では会話しようと考えないだろう。「クイズ大会をしよう」では会話のやりとりが必ず行われる。正解がわかり、仲間意識も高まると考えられるので、コミュニケーションを図る楽しさも十分に味わえると考えられる。

(2)活動計画（3時間配当）

時配	活動内容	主な言語材料
1	これは何かな	What's this?
2(本時)	ブラックボックスゲームをしよう	What's this? Hint please.
3	クイズ大会をしよう	What's this? Hint please.It's a ~.

4 児童について 男子15名 女子13名 計28名

明るく優しい児童が多い学級で、男女の仲も良い。どの場面でも関わりを持つことができずに固まってしまう児童が数名いるものの、学級全体が温かい目で見守っているため、参加できる場面だけではあるが一緒に活動することができる。

英語活動についてアンケートを行ったところ、授業を楽しみにしている児童が大変多いことがわかった。また、英語で会話できることにあこがれを持っている児童が多いこともわかった。ALTとの英語活動については、異文化に触れられ、日本人にはない積極性などを目の当たりにし、驚きと楽しみが混じった感想を持つ児童が多かった。

しかし、英語で話しかけることには抵抗を感じ、どうしても引っ込み思案になってしまうと回答した児童が多かった。

そうした児童の実態をふまえ、本時では、どの児童も楽しく英語でコミュニケーションを取れるように配慮していきたい。

5 指導について

本校の研究主題「思いをふくらませ表現することのできる子どもの育成」を受け、自分の考えや思いを一人一人が持ち、グループの中でふくらませ、さらに全体に広めていけるように様々な場面で工夫してきた。自信の無い友だちにはグループみんなで助けながら発表する場面も見られた。

英語活動でも会話をしたりカードの交換をしたりするなど、毎回グループ活動を取り入れてきた。自信のない児童も、グループの中では友だちに助けをもらいながら会話を楽しむことができていた。

今回もグループ活動を英語活動の中心に取り入れた。本題材では来年度から導入される英語ノートを活用してH R Tと英語活動を行う。積極的に会話し、友だちとコミュニケーションを取る楽しさも味わわせたいと願っている。

6 本時の目標

「What's this ?」を使ってコミュニケーションを図る楽しさを味わうことができる。

7 準備物

ブラックボックス 文房具絵カード アイマスク 疑似フルーツなど

8 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○はじめのあいさつをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Good morning. How are you? ・ I'm fine. <p>○CDを聞いて What's this?の発音練習を行う。</p> <p>○文房具の中からグループごとに担当を決め、担当する文房具になったら立って答えるゲームをする。</p> <p>○ワークシートを見てブラックボックスゲームを知ることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自信を持ってしっかりと発音できるように、1回目は聞きとるために、2回目は発音するためにCDを流すことを知らせる。 ・ 一人一人が意識して取り組むように、グループごとに立って言うようにする。 <p>☆積極的にゲームを楽しんでいるか。（行動観察）</p>
<p>A What's this? B Hint please? A Hint one ～, What's this? B ○○ A Ok /No</p>	<p>*やり取りを大切にするために、ヒントは必ず1回は言うことにする。</p>
<p>○ワークシートに、積極的にかかわっていた友達や自分が頑張ったことについての感想を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交替で何度も行うことで、皆が英語で会話するようにさせる。 ☆友達のよさや自分のがんばりを振りかえることができたか（ワークシート）

9 授業の観点

ブラックボックスゲームは、積極的にコミュニケーションするための手段として効果的だったか。